|  |  |
| --- | --- |
|  | 小千谷旅する案内帳「千の谷の物語と雅色の郷　小千谷」 |

**司馬遼太郎 峠の碑**

ガイド案内

* 平成５年の「越の大橋」開通に合わせて建立された文学碑（西詰・高梨町）の表には、司馬遼太郎のベストセラー小説「峠」の舞台となった榎峠や朝日山での激しい戊辰戦争の様子を描いた一節が綴られています。小説での描写をさらに推敲して書き直された原稿は、
* 小千谷市からの打診に対し、司馬遼太郎本人が異例の対応をした証です。裏には、「峠のこと」と題して、大作家が主人公の河井継之助に抱いた思いが刻まれています。
* 司馬本人の意向に沿い、信濃川を挟んで戊辰戦争の舞台となった榎峠・朝日山古戦場に向かうこの地に、比較的小さく目立たない石が選ばれて、今も歴史を見つめています。

エピソード

* また、この他にも小千谷市内にはもう一つ司馬遼太郎の文章が刻まれた石碑があります。
* 小千谷小学校にほど近い、平成町の慈眼寺です。司馬本人が小説「峠」の取材のために、小千谷談判の舞台となった慈眼寺を訪れた際に芳名録を残して行きました。このお寺の本堂入り口には、石碑に刻まれています。その文章からも、作家が主人公の河井継之助にほれ込んだ様が伺えます。

住所

小千谷市高梨町地内（越の大橋西詰）

メモ